

社会福祉法人 風祭の森

風祭の森通信

第14号 2016年1月号

社会福祉法人 風祭の森
理事長 長根 直幸
〒250-0032
神奈川県小田原市風祭563
電話:0465-24-6561
FAX:0465-21-6506
E-mailアドレス
mail@kazamatsurinomori.or.jp
ホームページアドレス
<http://kazamatsurinomori.p-kit.com/>



謹賀新年

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も地域社会における福祉の充実、向上に寄与するため、安心、安全と信頼のできる良質な福祉サービスの提供など社会福祉施設としての使命と責任を果たしてまいりますので、引き続き皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

太陽の「門」を大きく開いて

理事長 長根 直幸

あけましておめでとうございます。旧年中はなにかとご支援頂きありがとうございました。当地では暖かな日射しに恵まれ、どなた様にも良いお正月を過ごされたことと存じます。利用者の方々も力を入れて「箱根駅伝」の応援をすることができました。



「太陽の門」は開設から14年経過しました。施設設備も経年劣化による老朽化が目立ってきています。昨年末に外壁の全面改修や入浴設備の更新等の工事を行いました。心なしか、利用者の方々の顔も明るく見えるように思われます。また、1月1日現在、入所者が48名、通所者が35名、職員が98名在籍しています。専門の紹介機関に斡旋を依頼したり職員を紹介してくれた在籍者に報奨金を出したりもしていますが、正直に言って手不足の感は否めません。施設保全計画

に基づく改善を図ると共に、スタッフの定数確保を図ってまいりたいと思っております。さらに、今日求められている大きな課題に、スタッフの専門的力量を高めると共に、福祉・医療・教育・労働等の他機関と「つなぐ」ことの大切さが言われています。所内の他業種のスタッフとの仕事をつなぐことはもちろん、太陽の「門」を大きく開いて、外部講師等たくさんの方々において頂いたり、他の施設や機関と「つなぐ」ことによって、利用者が安全で安心して暮らせる支援の質の向上を目指していきたいと思っております。今年もよろしくようお願い申し上げます。

あけまして、
おめでとうございます

平成28年の新春に当たり職員の方々から「新年の抱負」を
いただきましたので紹介させていただきます。（敬称略）

加藤 淳子（看護課）

心身ともに健康でいられるよう努力し、常に笑顔で仕事に望みたいです。筋トレを強化し、今年は体幹の筋肉をつけたいです。

椎野 晃生（地域支援課）

今年は、今まで見ることの出来なかった、また気付くことの出来なかった利用者さんの表情が見られるよう、より利用者さんの目線に立ち、関わりを持っていきたいと思っています。

工藤 愛子（看護課）

明けましておめでとうございます。今年も利用者さん、スタッフと共に、いつも笑顔で楽しく過ごすことが出来るようにしていきたいと思っています。今年もよろしくお願ひします。

佐藤 可奈（生活支援課）

福祉職に就いてから三年目となる年なので、一步前に踏み出すチャレンジの年にしていきたいと思っています。

飯山 初代（生活支援課）

太陽の門に来てから半年が過ぎました。まだまだ勉強中ですが、利用者さんが、毎日楽しく笑顔で過ごすことができるよう、本年も元気に頑張っていきたいと思っています。

向原 淳子（看護課）

入職して8ヶ月が経ちました。だいぶ職場にも慣れ、利用者さんの個性や日々の様子を把握できてきました。今後は、他職種の職員と共に協力しながら、利用者さんにとってよりよい生活の場を提供できるように努めたいと思っています。

山崎 彩（診療課）

初めての重心施設の勤務で、まだまだ勉強が必要ですが、今年の利用者さん一人ひとりの事をもっと深く知り、最適な栄養ケアに努めます。また、持ち前の“食いしん坊”を活かしてメニューの考案をしていきたいです。

井上 加代子（看護課）

太陽の門に入職し早1ヶ月を迎えます。新人として心新たに健康第一で頑張りたいと思っています。利用者さんとの触れ合いの中で常に学ぶ姿勢を忘れずに進んでいきたいです。どうぞよろしくお願ひいたします。

米山 清美（地域支援課）

昨年9月に入職し、早いもので5ヶ月が経ちました。まだまだ未熟なところが多々ありますが、今年一年健康に留意し、笑顔を絶やさず、皆様と楽しく過ごしたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

平井 利直（生活支援課）

今年の新年の抱負は「初心貫徹」です。まだ入職して半年で、分からないことも多いですが、今年に変化のある年になるように気持ちを強く持ち、最後までやり通したいと思っています。

湯山 友紀（生活支援課）

1月に入職したばかりですが、「今年1年いろいろな事にチャレンジしていこう!!」と思っています。よろしくお願ひいたします。

高畑 航弥（生活支援課）

本年1月に当職に就職することができ、大変嬉しく、また新たな気持ちで頑張ろうと思える環境にこられた事で、今年1年を日々真面目に、後悔なく生きていこうと思っています。

**今年も 私たち 頑張りますので
よろしくお願ひします**



永年勤続表彰おめでとうございます

平成27年10月24日の秋祭り開会にあたり、当法人で10年の永きにわたり職務に精励された功績をたたえ、永年勤続職員表彰を行い、5名の職員が受賞されました。今後も当法人発展のため、ご尽力くださいますようお願いいたします。なお、この度受賞されました皆さんから受賞の喜びと今後の抱負についてご寄稿いただきましたのでご紹介させていただきます。（敬称略）

菊地 ソノ子（看護課）

初めて『太陽の門』に面接に来た日のことが、昨日の事に思い出されます。重心施設の看護経験がなかったので、不安と戸惑いがありました。施設内を案内され、その不安はいつしか消えていました。それは利用者さんの笑顔を見た時、とても眩しくて、ここで働きたいと強く思ったからです。入職して笑顔の中にいろいろな思いが込められていることに気付かされ、私に出来ることはその思いを理解し、安心して生活できるように支援することだと思いました。これからも永年勤続表彰に恥じることはないように、日々努力していきたいと思っています。ありがとうございました。

徳田 聖子（看護課）

この度は永年勤続表彰をいただき本当にありがとうございました。利用者さんやご家族との関わりを通して、たくさん大切な事を学びました。今まで一緒に時間を共有していく中で、言語的コミュニケーションではなく表情で感情を感じたり、個性が見えてきたり、信頼関係が出来てきたように思います。看護師という職種で利用者さんの健康面に特に注意し、安心感を与えられる存在となれるよう努力していきます。

内田 直之（生活支援課）

このたび永年勤続表彰をいただき、大変光栄に存じます。平成17年に入職して以来、ここまで続けてこられたのは、皆様のご指導とご援助の賜物であり、ここに感謝の意を表します。これからも一層努力してまいりますので、ご指導をお願いいたします。

山崎 梨絵（地域支援課）

太陽の門で10年働けたことに正直驚いています。太陽の門に入職した当時は、分からないことばかりで不安でいっぱいでした。その思いを持ちながらも働いてこられたのは、一つ一つ教えていただいたこと、利用者さんが思いを話してくださったからだ感謝しております。これからは、利用者さんとお話ししながら、利用者さんが幸せで、楽しく、笑顔でいられるようなケアをしたいです。

石原 忠史（事務課）

早いもので、私が入職してから10年が経ちました。仕事は施設内外の設備等の管理をしております。業務範囲が広いのと、一人での仕事なので結構大変です。たまにですが休日や夜間に仕事の電話が来ることもあります。何とか自分なりに頑張って10年間やってきました。これからも頑張っていきたいと思っています。

建物の 外壁改修工事が完成し 美しい外観に！！

平成27年度の一番大きな施設修繕として予定していました、建物全体の外壁改修工事が、約2か月をかけ昨年12月に完成し、見違えるような美しい外観によみがえりました。

本工事は、開設以来13年が経過し、塗装面の経年劣化や汚れ、傷等が見られ、このまま放置すると、今後雨水の浸透やコンクリートの劣化が懸念されるため、長期計画の一環として本年度に実施したものです。

工事内容といたしましては、足場などの仮設工事、外壁の洗浄・補修、壁面塗装、防水塗装、目地シール打替え、屋根の補修・洗浄、ひび割れガラス交換等を施行しました。



家族会だより

家族会会長 天野 隆博

昨年中は多くの方々に大変お世話になり有難うございました。
本年も職員の皆様及び関係する大勢の皆様いろいろな世話になりますが、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

家族会では、平成21年に入居者の青年後見人を選任する必要性が高まった
ため、後見人選任の講習会を開いて後見人の選任を行いました。その時後
見人になったのは、ほとんどの方が親でした。当時としては当然のことで
した。しかし、年々親も高齢化して親にも後見人が必要な事態が出てき
つてあります。そうすると親が物事の判断ができるうちに、入居者の後見人
を親に代わる人に選任し直すことが必要となります。親が年をとってもい
つまでしっかりしていただけるかという悩ましい状況になってきています。
親の高齢化では我が子の面会、家族会の活動参加なども十分に出来なくな
るという影響が出てきていますが、この後見人の問題も早めに対策を講じ
なければならないと考えています。



後援会だより

後援会会長 勝俣 孝二

新年明けましておめでとうございます。
後援会の皆さま、また施設関係の皆様におかれましては、日頃より風祭の
森後援会の運営に温かいご支援ご協力を賜り、誠に有難く厚くお礼申し上
げます。

昨年は、施設も長期修繕計画により建物の外壁改修等を施し新築当時の
綺麗な建物に生まれ変わり、施設利用者の方々も気持ち良く新年を迎える
事が出来たと思います。

後援会も皆さまのご支援のもと発足以来12年間施設の後援が非力なが
らも出来たと思います。本会も、もう一度設立当時に戻り設立趣旨の目的を
果たしていきたいと思ひます。

本会の趣旨をご理解いただき、一層のご協力を賜りますよう心より願
い申し上げます。

皆さまのご多幸とご健勝をお祈りいたしまして、ご挨拶と致します。



編集後記

新しい年が始まりました。今年の干支は60年に一回くる『丙申』
丙申の年は変革の年で「形がはっきりする、地が固まる」年だそうです。
職員一人一人の頑張りが形となり現れ、法人がさらに伸びていくよう
つとめてまいります。
本年もよろしくお願いいたします。

